

# 心のたねを蒔きましよう

鏡田区 山野邊 和子



やまの べ かず こ さん  
山野邊 和子

平成23年3月11日、東日本

大震災から今年で10年、未曾有の被害をもたらした災害は私達の心に深い爪痕を残しました。また、目に見えない原子力災害や度重なる水害、今も続く新型コロナウイルスとの戦い、そして2月13日に発生した地震など未だ多くの困難に直面しています。前を向いて一步一步と思いながらも、目に見えないものとの戦いは、いつ終息するのだろうかと不安を拭いきれません。人とのつながりさえも遠ざかってしまわないよう、支え合う心も失われぬようにと願うばかりです。

そんな不安の中で、地域のサロンでは、創意工夫を凝ら

しながら協力しあって、活動する姿に、いつも元氣と笑顔を頂いています。参加者の健康維持と脳トレ、レクリエーションと地域のつながりを感じながら、益々盛んに活動をして、笑顔の花を咲かせてほしいと思います。

何事にも関心を持つ事、挑戦してみる事、運動という言葉は、運が動くと書くので、身近なところで、これからも三密を守りながら、行動を続けていくことが大事であり、平穏な日常を早く取り戻せるよう願うばかりです。

また、地域のイベントの中で盆踊り大会は、盆踊り保存会を中心として、区役員、班長、育成会役員、各種団体の方々の協力のもとに、伝統を守るため、ふるさとのためにと、地域一丸となり、アイデアを出しあいながら行う事に、とても意義があると感じていますし、誇りに思います。また、良きせぬ事が起きる

現代社会では、「ひと事ではない」と痛感します。

できることを、できることで、地域のつながり、地域を高めながら行動していけたらと思います。そして、子育て、一人暮らしの高齢者、健康者も障がい者も地域で支え合いができるよう、さりげない見守り、一人一人が関心を持つて築き合い、お互い様の精神で、人に優しい笑顔で暮らせる町、災害に負けない町を目指しましょう。そのため、班・区・行政ともっともつと太いパイプでつながり、小さなことから、小さな声から、町民の声が届きますように、良い環境を目指して伝えるべき事、残すもの、活かすもの、次世代につながるように、お願いしたいと思えます。今はもう少し辛抱しながら、五年後、十年後を思い描きながら、心のたねを蒔きましよう。



鏡田サロン



盆踊り大会

## 編集後記

令和3年2月、福島県沖の地震により被害を受けた町民皆さまに心よりお見舞い申し上げます。議会も災害対策本部を設置し、災害状況と現地調査を行いました。早急な災害復旧の着手に記憶と教訓を生かし、対応して参る所存です。3月の定例会において、令和3年度の一般会計（災害による補正と追加予算）及び特別会計予算が計上されました。それぞれの予算審議が行われ、総額約百十九億円の予算が認定されましたことをご報告いたします。

新型コロナウイルス禍の長期化により日常生活・地域経済にも悪影響を与え、またコロナ変異株の拡大と感染・リバウンドの要因を懸念いたしますが、コロナワクチン接種体制と新型コロナウイルス終息に向けて町と協力連携し、新しい生活様式の継続感染対策に取り組んでいきたいと存じます。町民の皆様には明るい笑顔が見える議会だよりをお届けできることを目指します。

（畑 幸一 委員）

- 広報広聴常任委員会
- 委員長 今泉 文克
  - 副委員長 大河原正雄
  - 委員 畑 幸一
  - 委員 角田 真美
  - 委員 橋本 喜一
  - 委員 円谷 寛

No.180  
令和3年5月  
発行 福島県鏡石町議会  
編集 議会広報編集委員会  
〒969-0602 福島県東部鏡石町 不明沼345  
電話0248(62) 2110  
印刷 (株)米山印刷

# かがみい 議会だより



## 新入学の春 新しい友達との出会い

4月6日（火）町内の小・中学校で入学式が行われました。満開の桜が微笑む穏やかな日、新一年生のみなさんは、不安と緊張に一つまみながらも、新しい友達との出会いに希望を膨らませていました。友達100人できるかな♪

【写真】鏡石町立第一小学校入学式

## 目次

- 第7回定例会 ..... 2・3ページ
- 審議の結果 ..... 4ページ
- 第8回臨時会 ..... 5ページ
- 一般質問 ..... 6～9ページ
- 町民の声 ..... 10ページ

# 令和3年度予算を可決 新型コロナウイルス感染症対策に全力

第3回町議会定例会は、3月4日（木）から17日（水）までの14日間開催し、新年度予算や補正予算、国民健康保険条例の一部改正など38議案を審議し、議決しました。

また、一般質問は3月5日（金）に行われ、3名の議員が登壇し、町の防災対策や学校給食無償化、成田地区の高校移転など多くの行政課題について、質問が行われました。



第7回定例会

## 令和3年度各会計当初予算

会計区分		令和3年度	令和2年度	比較	増減率(%)
一般会計		6,300,000	5,689,000	611,000	10.7
国民健康保険特別会計		1,334,131	1,328,020	6,111	0.5
後期高齢者医療特別会計		120,125	120,754	△629	△0.5
介護保険特別会計		1,113,500	1,069,500	44,000	4.1
土地取得事業特別会計		65	18,379	△18,314	△99.6
工業団地事業特別会計		46,037	45,637	400	0.9
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計		184,900	179,400	5,500	3.1
育英資金貸付費特別会計		5,029	4,869	160	3.3
公共下水道事業特別会計		559,500	518,800	40,700	7.8
農業集落排水事業特別会計		127,561	76,900	50,661	65.9
小計		9,790,848	9,051,259	739,589	8.2
上水道事業会計	収益的	292,280	291,297	983	0.3
	資本的	1,812,836	1,617,284	195,552	12.1
	計	2,105,116	1,908,581	196,535	10.3
合計		11,895,964	10,959,840	936,124	8.5

## 新年度予算総額は約119億円

今回の定例会では、別表1のとおり約119億円の予算を決議しました。対前年比では、約9億4千万円、8.5%増、一般会計は63億円、対

前年比では、約6億1千万円、7%の増となりました。総額での増加の主な要因は、一般会計では、健康福祉センター整備事業や新型コロナウイルス感染症対策事業（ワクチン接種事業）など、上水道事業会計では、第5次拡張事業などによるものとなっております。（別表2）

## 予算審査特別委員会設置 一般会計外10会計を審議

令和3年度予算の審査では、古川議長を除く9名の議員で「予算審査特別委員会」を設置。委員長に角田真美議員、副委員長に畑幸一議員を選出しました。第3回定例会中の予算審査は、3月10日（水）から12日（金）までの3日間行われ、一般会計外、10会計を審査しました。

## 第6次総合計画 特別委員会が設置

3月4日（木）の本会議において、決議案第1号「鏡石町第6次総合計画調査特別委員会設置に関する決議（案）」が議決されました。同日、本会議終了後に、議員全員で構成される第1回「鏡石町第6次総合計画調査特別委員会」が開催され、委員長に、畑幸

## 議員活動と家庭生活 の両立支援

3月4日（木）の本会議において、発議第2号「鏡石町議会規則の一部を改正する規則の制定について」が審議され、全会一致で可決されました。この改正により、出産、育児、介護による議会欠席理由が整理され、産前産後の欠席期間も規定されるなど、男女の議員が活動しやすい環境整備が行われました。

## 陳情1件を採択

今定例会には、陳情1件が提出され、産業厚生常任委員会（角田真美委員長）に付託され、3月9日（火）に開かれた常任委員会において審議されました。

陳情第4号「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出陳情」については、委員会審議の結果「採択すべきもの」と決し、3月17日（水）の本会議において、角田委員長から報告がされ、産業厚生常任委員会決定のとおり可決しました。



追悼演説を行う  
橋本委員長

**故井土川好高議員を追悼**  
町議3期、在職9年6ヶ月  
去る2月2日、故 井土川好高議員が逝去されました。今定例会では、故 井土川議員の功績をたたえ、3月4日の議会開会日にご遺族ご列席の下、本会議場の全員で黙祷を捧げると共に、同じ委員長に在籍した橋本喜一委員長が、追悼演説を行いました。

## 令和3年度 鏡石町主要事業計画（新規事業）

事業名	事業内容	事業費
新型コロナウイルスワクチン接種事業	町民へのワクチン接種の実施	60,074
母子保健事業	妊婦一般健康診査20週・産後2週間健康診査事業	1,770
	産前産後家庭支援ヘルパー派遣事業	700
	母子電子手帳アプリ用情報発信管理ツール導入	198
保育人材確保支援事業	新任保育士の人材確保支援	300
通りを歩いてみたくなる事業	笠石鏡田線道路環境整備事業	2,421
	街路笠石鏡田線（中央・中町工区）整備事業	2,300
住んでみたくなる事業	結婚新生活支援事業	1,500
	若者定住促進奨学金返還支援事業	1,000
行財政の改革と進行管理	公共施設等総合管理計画改訂事業	8,000
	こおりやま広域圏連携RPA（ロボット自動化）等導入事業	6,000
町民保健と健康づくりの支援	健康増進事業（健康診査データ分析支援システム導入）	1,800
高齢者福祉の充実	健康福祉センター整備事業	571,130
医療保険制度の適正な運用	特定健康診査（集団）減塩対策事業（推定食塩摂取量測定）	660
防災性の向上	防災対策事業（ドローン操作講習会）	300
	消防団員安全装備購入事業	1,150
	防災マップ（ハザードマップ）更新事業	2,500
交通安全対策の推進	高齢者安全運転支援装置設置費補助事業	1,730
農業の振興	農作業省力化支援事業	500
	園芸作物推進支援事業	1,250
計画的な土地利用と都市開発の推進	県中都市計画図更新事業	6,500
阿武隈川緊急治水対策プロジェクト	成田地区水害対策事業	258

## 第7回定例会 審議の結果

※令和3年3月定例会議案（報告等含む）38件（報告2件、条例改正11件、新年度予算11件、補正予算8件、条例廃止1件、議員発議2件、陳情1件、その他2件）  
 ※議案等は、すべて全会一致で可決・承認・採択されました。

議案等番号	議案件名及び概要等	議案等番号	議案件名及び概要等
報告第24号	専決処分した事件の承認について (新型コロナワクチン接種体制確保にかかる予算)	議案第148号	令和2年度鏡石町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号) (国道4号拡幅関連雨水管渠工事の増)
報告第25号	専決処分した事件の承認について (福島県沖地震による公共施設復旧事業にかかる予算)	議案第149号～159号	令和3年度鏡石町一般会計及び特別会計予算 (合計11会計の新年度予算)
議案第135号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(通勤手当の上限額の改定)	議案第160号	鏡石町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (関係省令の一部改正に伴うもの)
議案第136号	鏡石町語学指導等を行う外国青年の報酬に関する条例の一部を改正する条例の制定について(外国語指導助手の報酬規定を追加)	議案第161号	鏡石町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (関係省令の一部改正に伴うもの)
議案第137号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について(期末手当の支給率を改定)	議案第162号	鏡石町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(関係省令の一部改正に伴うもの)
議案第138号	鏡石町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について (感染症法改正により新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが変更)	議案第163号	鏡石町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (関係省令の一部改正に伴うもの)
議案第139号	鏡石町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について (国保税の軽減判定所得基準の見直し)	議案第164号	鏡石町都市公園条例の一部を改正する条例の制定について(完成した「東町公園」を追加)
議案第140号	鏡石町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について(第8期介護保険事業計画における介護保険料の改定)	議案第165号	町道路線の廃止について (成田地区内の2路線を廃止)
議案第141号	がんばるぞ鏡石震災復興基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定について(基金設置の必要性が終了したため)	議案第166号	令和2年度鏡石町一般会計補正予算(第13号) (災害対策にかかる予算)
議案第142号	令和2年度鏡石町一般会計補正予算(第12号) (年度末事業確定による整理予算)	議案第167号	鏡石町第6次総合計画調査特別委員会設置に関する決議(案) (第6次総合計画の調査)
議案第143号	令和2年度鏡石町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) (年度末の事業確定による)	議案第168号	鏡石町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について (議員の産前産後の欠席期間等を規定)
議案第144号	令和2年度鏡石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) (年度末の事業確定による)	陳情第11号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出陳情書 (「全国平均1,000円を目指す」との国の方針に沿った改善を求めるもの)
議案第145号	令和2年度鏡石町介護保険特別会計補正予算(第3号) (年度末の事業確定による)	意見書案第10号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書(案)
議案第146号	令和2年度鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号) (社会資本整備総合交付金事業に伴う道路工事の増)		
議案第147号	令和2年度鏡石町育英資金貸付費特別会計補正予算(第1号) (貸付金の確定等による)		



第8回臨時会

全2議案を審議・可決  
 第8回鏡石町議会臨時会は、令和3年1月20日(水)に開催されました。この臨時会では、台風19号による災害復旧工事である河原地区災害復旧工事変更請負契約の締結及び新型コロナウイルス感染症対策事業に関する一般会計補正予算の2件の議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

## 河原地区災害復旧工事変更請負契約の締結など

### 第8回臨時会

## 第8回臨時会 議案2件

議案番号	件名
議案第133号	河原地区災害復旧工事変更請負契約の締結について
議案第134号	令和2年度鏡石町一般会計補正予算(第9号)

## 第8回臨時会 審議の結果

\*「○」賛成 「×」反対 「欠」は欠席 「-」古川文雄議長は採決に加わらない。

議案・報告等	結果	畑幸一	角田真美	橋本喜一	菊地洋	小林政次	井土川好高	渡辺定己	大河原正雄	今泉文克	円谷寛	古川文雄
議案第133号	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	-
議案第134号	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	-

## 福島県沖地震の災害対策本部設置 ～古川議長を本部長に現地調査～



現地調査

令和3年2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震では、町内で震度5強の揺れを観測、公共施設や上水道施設、一般住宅など、大きな被害を受けました。鏡石町議会では2月16日(火)、臨時の全員協議会を開催し、災害対策本部を設置しました。古川文雄議長を本部長、畑幸一副議長を副本部長に議員で構成、町から被害状況の説明を受けた後、現地調査を実施しました。災害対策本部では、地震の被害などを調査し町民の声を聞きながら課題をまとめ町に報告するほかに、国・県に要望活動を行い、早期の災害復旧を支援します。



- 町の防災対策について
- 新型コロナ対策について
- 地域コミュニティについて

角田真美議員

一般質問

**質問** 幼児・子どもの防災教育の内容と周知徹底は。

**総務課長** 防災用テントは10張確保し、段ボール製ベッドや間仕切りを30基備蓄している。簡易トイレは備蓄は無い。避難所に今後備蓄や取扱い業者との協定等を検討して行きたい。

**質問** 行政区長中心に防災意識向上に努めているが、現状は具体的な支援が無い。国・県が年に数回、防災リーダー育成

**総務課長** 行政区の防災リーダーの育成の必要性は。

**質問** 国・県の制度があり「緊急小口資金」「総合支援資金」は町社会福祉協議会が窓口で、「母子父子寡婦福祉貸付」は福祉子ども課、「住居確保給付金」は、生活自立サポートセンター県中事務所が窓口となっている。

**総務課長** 行政区の制度があり「緊急小口資金」「総合支援資金」は町社会福祉協議会が窓口で、「母子父子寡婦福祉貸付」は福祉子ども課、「住居確保給付金」は、生活自立サポートセンター県中事務所が窓口となっている。

**質問** 災害時の防災用テントや簡易トイレ・物資等の備蓄は。

**総務課長** 防災用テントは10張確保し、段ボール製ベッドや間仕切りを30基備蓄している。簡易トイレは備蓄は無い。避難所に今後備蓄や取扱い業者との協定等を検討して行きたい。

**質問** 高齢者の避難行動計画は。

**福祉子ども課長** 要配慮者自らが避難困難な要介護認定3〜5や身体障がい者手帳1、2級の第一種療育手帳Aの知的障がい者などの方の名簿を整備し支援する。町職員や民生委員により訪問、声掛け、安否確認に努めている。

**質問** 新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業の生活支援対策は考えているのか。

**健康環境課長** 感染者接触者の対応は県が行い、感染者同居家族が陰性であれば自宅にて14日間健康観察を行っている。

**質問** 行政区の役員や消防団員のなり手不足の解決策はあるのか。

**総務課長** 消防団員は、なり手不足により定員割れを起こしており、行政区役員や各種団体役員についても、一部の方に役割や負担が集中し、区長には苦勞をお掛けしている。有効な解決策がなかなか見つからないのが実情だが、消防団や区長等の待遇改善や負担軽減について検討していきたい。

**質問** 災害時の災害公営住宅の入居資格はどうか。

**総務課長** 町の条例で「入居者資格」の要件を具備する者として、東日本震災と東京電力原子力事故に関連する被災者が対象となっている。東日本台風では成田地区の避難先として東町団地・定住促進住宅を提供し、使用料は全額免除となっている。

**質問** 幼稚園、保育所、認定こども園では、月に一回の防災訓練を実施のほかビデオや紙芝居を活用し指導を行い、年数回は保護者への引き渡し訓練を実施している。

**総務課長** 幼稚園、保育所、認定こども園では、月に一回の防災訓練を実施のほかビデオや紙芝居を活用し指導を行い、年数回は保護者への引き渡し訓練を実施している。

**質問** 研修会等を実施しており、今後、参加への支援を行う考えでいる。

**健康環境課長** 新型コロナウイルス感染者の同居家族の感染防止の宿泊施設場所の設定をどう考えるか。

**質問** 行政区の加入率は実態把握をしていない。消防団員不足は深刻な問題で、定員208名に対し169名である。これら行政区加入率減少や消防団の加入者減少は、地域コミュニティの維持に影響があり非常に大きな問題である。

**総務課長** 行政区の加入率は実態把握をしていない。消防団員不足は深刻な問題で、定員208名に対し169名である。これら行政区加入率減少や消防団の加入者減少は、地域コミュニティの維持に影響があり非常に大きな問題である。



**一般質問** は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に問題点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、執行当局に事前通告をします。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。一般質問の要旨を掲載しました。(1人1ページ)

なお、今議会の登議員は3人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
7	角田真美	○町の防災対策について ○新型コロナ対策について ○地域コミュニティについて
8	円谷寛	○学校給食無償化について ○新型コロナによる町内不況脱出策について ○駅東(準工地区)の開発の進め方について ○企業誘致への町の取り組みについて ○田んぼアートの事業の見直しについて ○かんかんてらす事業の見直しについて
9	橋本喜一	○成田地区の高台移転について ○福島県沖地震について ○農業環境について ○消防組織について

**議会傍聴へお越し下さい**

次回の定例会は、6月となります。あなたの目と耳で確かめ、町政に参加しませんか。

傍聴手続きは、役場庁舎2階の議会事務局事務室で住所と氏名を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

3議員が町政を問う

- 成田地区の高台移転について
- 福島県沖地震について
- 農業環境について
- 消防組織について

橋本喜一議員

- 学校給食無償化について
- 新型コロナによる町内不況脱出策について
- 駅東(準工地区)の開発の進め方について
- 企業誘致への町の取り組みについて
- 田んぼアートの事業の見直しについて
- かんかんてらす事業の見直しについて

円谷 寛議員

**質問**  
県内ですでにかなりの市町村が給食無償化を実施しているが、我が町はいつから行うのか。

**教育長**

県内で37自治体が実施し全額補助16自治体、半額補助が7、一部補助は14自治体である。財源は交付金や自主財源で実施している模様。わが町が実施した場合、6千万円が必要となり、新型コロナウイルス感染症対策、健康福祉センター整備、それに第二小学校の整備事業を行っており、他市町村の動向に関わらず無償化実施の財源確保が非常に厳しい状況である。

**町長**

財源等の動向を見据え慎重に対応していきたい。

**質問**

町内消費喚起と町民福祉のために全町民に一人あたり一万円の商品券を給付できないか。

**質問**

治水対策室創設の目的は、

**町長**

令和3年度から都市建設課内に治水対策室の創設を予定している。令和元年度の台風19号により甚大な被害を受けた成田地区への今後の対応と安心安全な居住地作りを推進するために設置する。役割は①国の遊水地事業と住民との連絡調整、②昨年11月成田区長を会長に設立された「水害から居住地を守る成田地区推進協議会」と町との調整等を主な任務とする。

**質問**

成田地区住民の高台移転への意向は。

**都市建設課長**

国からは「3月頃に遊水地の範囲を示したい」と聞いているので、次回の住民説明会で国の説明を聞き、住民の疑問点を解消していただき、住民の高台移転について意見の集約をしていきたい。

**総務課長**

町では需要創出・消費喚起に伴うプレミアム付き商品券として、飲食店専用と一般店舗用の2種類を発行している。既に完売となり総額で九千六百万円が町内で消費される事になっていく。また新生児に対しても町独自に一人につき10万円を給付している。

**質問**

準工地区の全面積と町の所有面積はいくつあるか。

**都市建設課長**

駅東第一土地区画整理事業には、用途地域として準工業地域を定めている。準工業地域とは、軽工業の工場等の環境悪化の恐れのない工業の業務の利便性を図る地域で、危険性・環境悪化が大きい工場以外は建築できることとなっている。面積は約26ヘクタールで町所有は6.4ヘクタールである。

**質問**

その地域に墓地の建設はどうか。

**町長**

そういう事も含め、何をするにも土地をまとめなくてはならない。

**質問**

この地区の開発は何年までに達成するのか。

**都市建設課長**

現在の事業計画期間は56.3ヘクタール全体で令和15年度の完了を計画しており、現在は健康福祉センター建設地の第3工区を施工している。

**質問**

準工地区に未だに工場等が誘致されていないが、町長は現状をどう考えているのか。

**町長**

駅東の区画整理事業ではまだ企業誘致までは至っていない状況である。今後町における働く場所の更なる確保や町の経済活性化のためにも企業動向に注視し、活動を進めていきたい。

**質問**

図書館事業と混同しないために、屋外に田んぼアート観覧用の塔を鉄骨または足場パイプ等で建設すべきではないか。

**産業課長**

窓から眺める絵本・もう一つの図書館をコンセプトに実施されることで図書館利用者には多少なりともご迷惑をかけているところなので、これらのことも鑑みて今後、実行委員会などで検討を進めていきたい。

**質問**

かんかんてらす事業を道の駅に発展させるべきでないか。

**町長**

道の駅指定にあたっては、様々な必要要件があり現在のかんかんてらすでは、施設の規模や駐車場、24時間対応といった部分で登録基準を満たすまではいかない現状である。

**質問**

防災集団移転を都市再生機構(UＲ)に委託は考えられないか。

**町長**

国は防災集団移転が必要と判断し、人員などの余裕のない市町村の委託を受け都市再生機構が事業代行できるように関連法の改正を通常国会に出すとの新聞報道がなされた。移転の方法によっては委託等も視野に入れながら進めたい。

**質問**

今回の福島県沖地震について、り災証明の受付状況は。

**税務町民課長**

2月28日までの受付状況は354件。一次調査件数は161件で、内訳は全壊0件、大規模半壊2件、中規模半壊3件、半壊4件、準半壊48件、一部損壊104件となっている。

**質問**

環境保全会への交付金支払い時期はいつなのか。

**町長**

今年度は、県の内示が遅れたことで、例年より2ヶ月ほど支払いが遅れてしまった。

**質問**

本年度、羽鳥揚水の供給状況は。

**産業課長**

羽鳥ダムの貯水量は3月1日現在約53%であるが、2月13日の地震により被害を受け、地下埋設水路の給水試験中である。

**質問**

消防団員数はこの20年間どのように変化しているか。

**総務課長**

昭和50年に9分団制になり208名が条例上の定数である。平成12年に206名、平成30年に過去最低の153名となり、この年より機能別団員制度を導入し、新たに女性に入団いただき、令和3年3月現在の団員は169名となっている。

**質問**

団員確保のため待遇改善を行うべきではないか。

**総務課長**

先進的な取り組み自治体の事例を研究しながら改善策を検討していきたい。

**質問**

可搬式ポンプを各地域の支援隊で運用できないか。

**総務課長**

分団毎に消防活動支援隊があり、230名の方々に協力いただいております。この方々は可搬ポンプでも消防車両も使用できるが、コロナ感染症で訓練ができずにいる。来年度は実施したい。

